

障害者施設における虐待発生要因に関する分析

—A県内における支援者の視点をととして—

○ 横浜市立大学 増田公香 (2284)

キーワード：障害者虐待・支援者・職場環境

1. 研究目的

2016年7月に神奈川県知の知的障害者施設において多くの障害のある人々が殺傷された。また2014年には千葉県袖ヶ浦において、さらに2015年には山口県知の知的障害者施設において暴行事件において施設職員が逮捕・書類送検された。このように近年の日本社会では障害者施設における虐待事件が後を絶たない。

筆者は虐待者が逮捕されても障害者虐待事件の根本的な課題解決とはならないと考える。つまりなぜ支援者による障害者虐待事件が発生するのか、その発生要因を検討することが重要であると考え。そしてそれは虐待という事象を支援者の視点も含め包括的かつ構造的に検討する必要があると考える。

以上のことを踏まえ、本論ではA県知の知的障害者福祉協会が2015年に実施した県内の障害者施設従事者に対して実施した意識調査をととし、支援者の意識・労働環境等を踏まえたうえで虐待行為に至る背景要因を分析する。そのうえで今後求められる施策を提言することをその目的とする。

2. 研究の視点および方法

本研究は、A県知の知的障害者福祉協会が2015年に実施した「会員施設従事者に対する意識調査」の結果を分析する。

- 1) 調査内容：次の点を質問内容とした。①基本的属性②職場に関する事項③利用者に対する不適切な行為④事業所の権利擁護に対する取組みの4 カテゴリーで合計55項目の質問項目から構成されている。
- 2) 調査方法：郵送によるアンケート調査とした。具体的には事業所に対象支援者数を調査したうえで事業所別に取りまとめて発送し対象者に配布した。回答者は記入後無記名で投函する方法をとった。

3) 調査実施時期

2015年8月5日～9月30日とした。

4) 調査対象

A県知の知的障害者福祉協会加入の103施設・事業所の支援者2,479名を対象とした。内訳は次のとおりである。27通所事業所(544名)・43入所事業所(1,796名)・5児童通所事業所(139名)とした。

7) 分析方法

分析方法に関しては次の2 方法をとった。第一に各項目に関しては単純集計によりその実態を把握した。第二に、虐待行為の発生要因を分析するために重回帰分析を行った。従属変数に「利用者への不適切な行為の有無」「無意識に不適切な行為を行う」を投入し2種類の重回帰分析にて分析した。独立変数には、基本的属性・職場に関する情報・事業所の権利擁護の取り組みを各々投入し、ステップワイズで分析した。

3. 倫理的配慮

本調査を実施するにあたりA県知的障害者福祉協会は倫理審査委員会（弁護士・社会福祉大学教授という3名で構成）を設置し検討結果倫理審査委員会において承認された。

4. 研究結果

1,702名から回答が得られた（有効回答率68.6%）。

1) 単純集計結果

短銃主計結果からは次の点が明らかとなった。性別でみると、男性619名・女性1,075名・無回答8名であった。年齢に関しては、平均年齢は47.4（±14.2）だった。有資格者は、社会福祉士は135名（7.9%）、精神保健福祉士21名（1.2%）、介護福祉士249名（14.6%）、保育士260名（15.3%）であった。（複数回答あり）

2) 重回帰分析結果

重回帰分析の結果、まず「利用者への不適切な行為の有無」を従属変数にした場合は、有意に影響した独立変数は「チームワーク」次いで「事業経過報告」「虐待防止マニュアル」「上司との関係」「苦情解決委員会の設置」「行動規範」の結果となった。次に「無意識のうちの不適切行為の有無」を従属変数とした場合有意に影響した独立変数は、「年齢」「虐待防止マニュアル」「事業経過報告」「福祉系学校の卒業の有無」「チームワーク」「支援の話し合いの場」「行動規範」という結果となった。

5. 考察

本調査のうち殊に虐待行為と職場環境との要因分析の結果次の点が確認できた。第一に「チームワーク」「上司との関係」という“人間関係”である。これは可視化できない事象であるが実は対人支援を中心に展開している職場において極めて重要な点であると考ええる。第二に「支援者への事業経過報告書等の周知」という“職場の情報開示”、第三に「虐待防止マニュアル」「行動規範」という“虐待予防に向けての取り組み”、そして支援者脳要件として「福祉系学校の卒業の有無」が虐待行為との関連性が確認できた。つまり、障害者支援の場で環境改善を図ることにより障害者虐待を予防することは可能であると考ええる。

【謝辞】 データを提供していただきました「A県知的障害者福祉協会人権・倫理委員会」及びアンケート回答者にこの場を借りて深く感謝申し上げます。